

石井一氏の 29日の発言要旨

- 日本政府はいまだに横田めぐみさんらを返せと騒いでいるが、もうとっくに亡くなっている
- まだ(交渉を)やっているのは非常に違和感がある
- 拉致被害者の生死を私が断言できる根拠はない(パーティー後の取材で説明)
- 最高権力者(金正日総書記)が交渉で一度認定した事実を覆すことはあり得ない。冷静になるべきだ(同)

「めぐみさん死亡」発言

神戸市で29日に開かれたパーティーで、北朝鮮による拉致被害者、横田めぐみさん(29)と拉致当時(13)のらについて「もうとっくに亡くなっている」と発言した民主党の石井一元国家公安委員長(80)が30日、産経新聞の取材に応じ、「北朝鮮が一度、死亡を認定した人が日本に戻ってくることはあり得ない、という趣旨で話した」と改めて主張した。



民主・石井一氏

改めて「帰国あり得ない」

石井氏は「拉致被害者の家族が『生きて帰ってきてほしい』と思うのは当然だし、帰ってくれば、それ以上うれしいことはない」と話しながらも、「金正日総書記が小泉純一郎首相(当時)に伝えた拉致被害者の『死亡』という事実は大きい。いったん受け入れたものを、ひっくり返せるのか。被害者家族を思えば痛ましいことだが、それはほとんど不可能に近い。国際社会としては決着がついている話だ」と同様の主張を繰り返した。

そのうえで、「(被害者家族が)かわいそうだから返せ、と騒ぐこと自体がマインナなことではないか」と述べ、発言を撤回する考

えはないとした。一方、民主党の長島昭久党拉致問題対策本部長(52)

「信じていない」「無視」

被害者家族 あきれ顔

は30日、産経新聞の取材に対し、石井氏の発言に「元気に戻ってくることを待ち焦がれている横田ご夫妻の心を踏みにじる言語道断の発言だ。民主党の政策、方針とは全く関係がなく、直ちに撤回してほしい」と述べた。

さらに、長島氏は「(拉致問題の進展も想定される)この時期にこういう発言をすることが国益を毀損することはもとより、どうい利益があるのか理解に苦しむ」と話した。

めぐみさんの母、早紀江さん(78)は「よくあんなことを考える人がいるなと思

います」とし、「あんなことは全然信じていません」ときっぱりと語った。父、滋さん(81)も石井氏の発言には根拠が全くないため、「無視するしかない」と静観する考えを示した。

拉致被害者らの再調査結果が9月上旬にも北朝鮮から伝えられるのを前に、被

「進展なければ大ダメージ」

再調査 蓮池さん協力呼びかけ

拉致被害者の蓮池薫さん(56)が30日、さいたま市大宮区で講演した。蓮池さんは北朝鮮による拉致被害者

らの再調査について、「進展なく終わった場合、被害者にどれだけ大きな精神的ダメージが残るか」と話し、「国民が鋭い目、力強い目で声を出すことが必要」と解決に向けた協力を呼びかけた。

「ようあんなこと言っているなという感じですよ」とあきれかえった様子。父、明弘さん(86)は石井氏の発言が自身の旭日大綬章受章記念パーティーで出たことに触れ、「(石井氏が)どんな功労者かは知らんけれど、こんなことをいう人に出さなければならぬ」と述べた。

平成14年に帰国した蓮池さんだが、北朝鮮に残る被害者が蓮池さんらの帰国を「リアルタイムに近い形で知り、つらい思いを12年間してきたはずだ」と指摘。今回の再調査は北朝鮮でも報道されており、「被害者が報道を見ていないはずがない。期待度が上がる一方、不安も多いたろう」と思いやった。生存被害者が見つかった場合、帰国に向けて協議することになっているが、「無条件に日本に来てもらい、十分な期間をかけて将来のことを決めてほしい」と話し、被害者の即時帰国を求めた。